

ハケ岳中央農業実践大学校 農業体験ワークショップを 一般向けに提供開始

年間約1万人の小中高生向けに提供してきたプログラムを一般に開放

公益財団法人農村更生協会が運営するハケ岳中央農業実践大学校(所在地:長野県諏訪郡原村/理事長:南 壮一郎/以下、本校)は、2024年7月6日(土)に、一般向けに農業体験ワークショップ「ハケ岳農業大学校 体験ワークショップ」の提供を開始します。



ハケ岳中央農業実践大学校は1938年に開校し、80年を超える歴史を有します。そのキャンパスは、標高1,300mのハケ岳の麓、総面積267ヘクタールの緑の大地で、絶好の学びの環境が広がっています。本校では、専門生が実践的な農業を学ぶほか、小中高校の林間学校向けに、農業体験学習プログラムを提供し、毎年1万人近くの子どもたちが学んでいます。子どもたちに農業や食への関心を高めてもらうことはもちろんですが、「命」について学ぶ格好の機会にもなっています。このたび、好評につき、さらに多くの方々に学びの機会を提供すべく、このプログラムのうち人気の6種類を、一般向け(主に親子向け)に、「ハケ岳農業大学校 体験ワークショップ」として提供を開始します。

詳細:<https://yatsunou.jp/workshop/>



【「ハケ岳農業大学校 体験ワークショップ」の6プログラム】

「遊ぶように学ぶ」をテーマとする、楽しみながら学んでいただけるプログラムです。

■ 牛の暮らしに潜入！酪農体験

本校の広大な放牧地では、約100頭の乳牛を育てています。普段は飼育員しか入れない牧草地と牛舎に特別に入り、牛との触れ合い、えさやり、疑似搾乳体験など、本格的な酪農体験ができます。

■とれたて野菜をパクっ！畑づくり体験

本校では四季折々のさまざまな野菜を育てています。その野菜の畑づくりを体験します。夏は畑で野菜を収穫し、その場で食べることもできます。

■生みたての卵を触ってみよう！養鶏体験

鶏を地面に放す「平飼い」の飼育体験ができるプログラム。鶏舎の中では、鶏が自由に動き回り、ストレスの少ない環境で飼育されています。本物の放牧鶏舎に入り、卵集め、水替え、手からのえさやり、掃除などを体験し、鶏と触れ合います。

■スリル満点！木のぼり林業体験

木登り補助具を使って最高で約 15m まで木登りし、高所で枝を切るスリル満点の体験ワークショップ。本校の広大な森林を舞台に、新鮮な空気を吸いながら、全身で林業体験を楽しんでいただけます。(対象:小学生以上)

■植樹を体験！自分たちで森をつくろう

植樹という、何よりもシンプルに森をつくる体験ができるプログラム。スコップやノコギリを使って、植樹を体験。自分が植えた苗が森の一部となっていくことに、まるで我が子を森に託すような愛情を感じていただけます。

■自然の甘みを感じよう！野菜のジャムづくり

地元の野菜を使って、屋内で 1 からジャムをつくります。完成したらクラッカーにつけて試食し、野菜の本来の甘みを味わっていただけます。

【詳細】

■開催日

2024 年 7 月 6 日(土)～(不定期開催のため、詳細はサイトをご覧ください <https://yatsunou.jp/workshop/>)

■場所

八ヶ岳中央農業実践大学校

長野県諏訪郡原村 17217-118(中央自動車道 諏訪南 IC から約 15 分)

■対象

一般の方(主に親子)

※大人のみ参加も可能です

■申し込み方法

以下のサイトよりお申込みください(申し込み受付期間:開催 1 時間前まで)

<https://yatsunou.jp/workshop/>

■料金

1 人 4,800 円(税別)(小学生以上同額)

※小学生未満のお子様は参加費無料で同伴可能です

※森づくり:1 組 9,600 円(1 組ごとに 1 苗の植樹体験、税別)、ジャムづくり:1 人 3,000 円(税別)

※酪農・畑づくり・養鶏・林業・森づくり:9 歳以下は保護者同伴必須、ジャムづくり:小学生未満は保護者同伴必須

【参考:林間学校で体験ワークショップに参加した中学生の感想(一部抜粋)】

「森林の大切さをしっかり学ぶことができました」

「改めて、命って大切だなと思うことができました」

「楽しく学ぶことができよかったです」

「身の回りのものの大切さがよくわかりました」

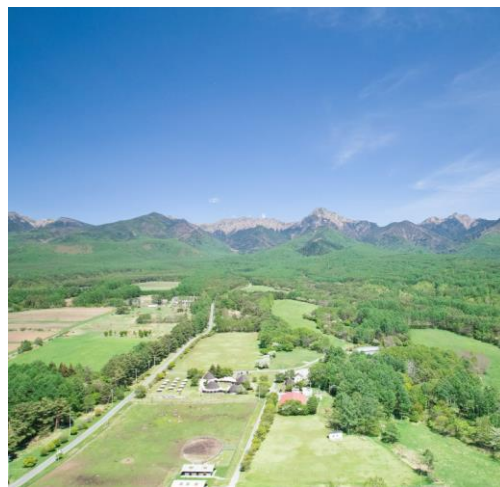
「鶏から命をいただいていることを実感し、全ての食べ物を粗末にしないで食べていきたいです」

「野菜のおいしさや働くいろいろな人の苦勞を知ることができました」
「自然への感謝が大切だと思いました」
「森づくりや養鶏などいつもは学べないことを学べました」

【八ヶ岳中央農業実践大学校について】 <https://yatsunou.jp/>

1938年に開校した八ヶ岳中央農業実践大学校(公益財団法人農村更生協会によって運営)は、標高1,300mの八ヶ岳の麓に、総面積267ヘクタール(東京ディズニーランドの敷地面積の5倍以上)の緑の大地が広がるキャンパスを有します。自然の雄大さ、たくましさ、輝き、息吹に直接ふれることができる、絶好の学びの環境が広がっています。

この雄大な自然環境のもとで、専門生が実践的な農業を学んでいます。広大な農場をキャンパスにして、高原野菜やスイートコーンなどの畑作、シクラメンや宿根草などの花卉、酪農、養鶏など、耕畜両面にわたる農業を幅広く生産現場での実践をとおして学べます。また近年は、毎年1万人近い小中高生が農業体験学習に訪れています。



校内には直売所も設置され、本校の学生たちが育てた高原野菜をはじめ、色鮮やかな花々、放し飼いの鶏が産んだ卵、地元の特産品である地酒、クラフトビール、ワイン、アイスクリーム、プリン、ソーセージなどを取り揃えています。今後は乳製品加工にも取り組み、校内で生産した商品を販売する六次産業化を推進していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

E-mail: contact-w@yatsunou.jp

八ヶ岳中央農業実践大学校 PR 担当